

吾妻山

○火山活動度レベル（平成17年3月）

1（静穏な火山活動）

○概況

火山活動は穏やかに経過しました。

大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に変化はありませんでした。

地震活動の状況

火山性地震の月合計回数は1回でした（2月3回）。

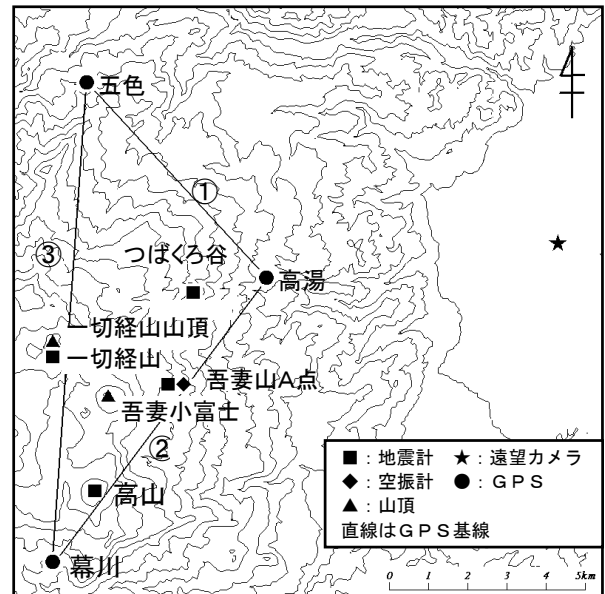
火山性微動はありませんでした（2月なし）。

モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は2回観測されました（2月6回）。

噴気活動の状況

遠望観測（監視カメラ）では、大穴火口付近の噴気の高さは50m以下で変化はありませんでした。

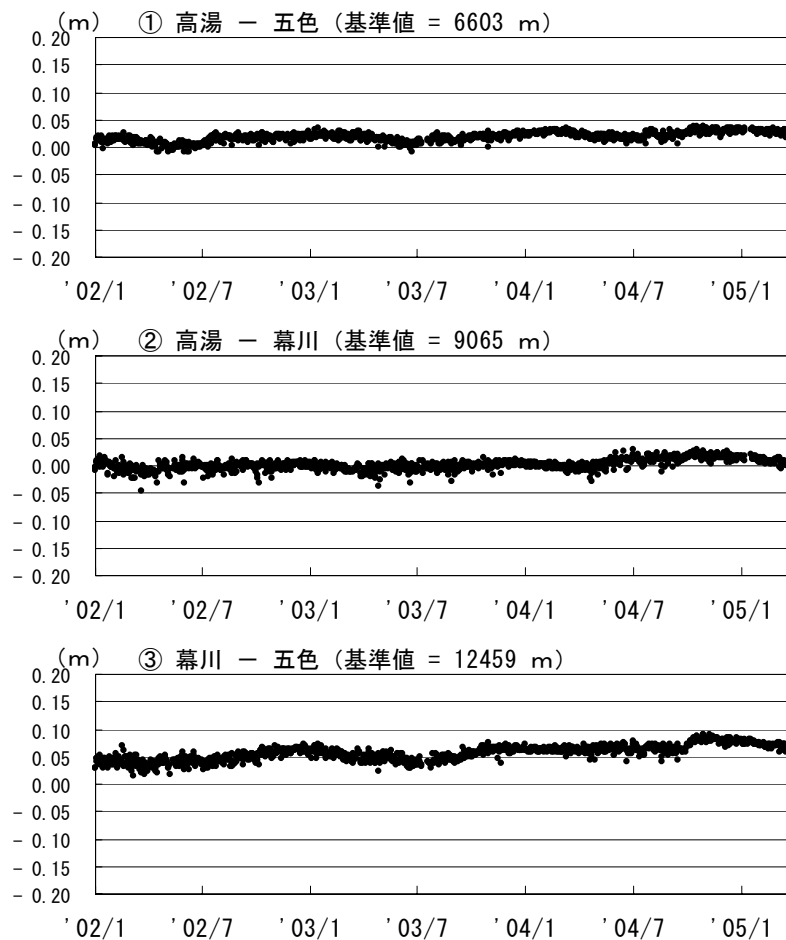
10日に東北地方整備局の協力により行った上空からの火山観測で、大穴火口付近の噴気の状態などに変化はありませんでした。



吾妻山火山観測点配置図

地殻変動の状況

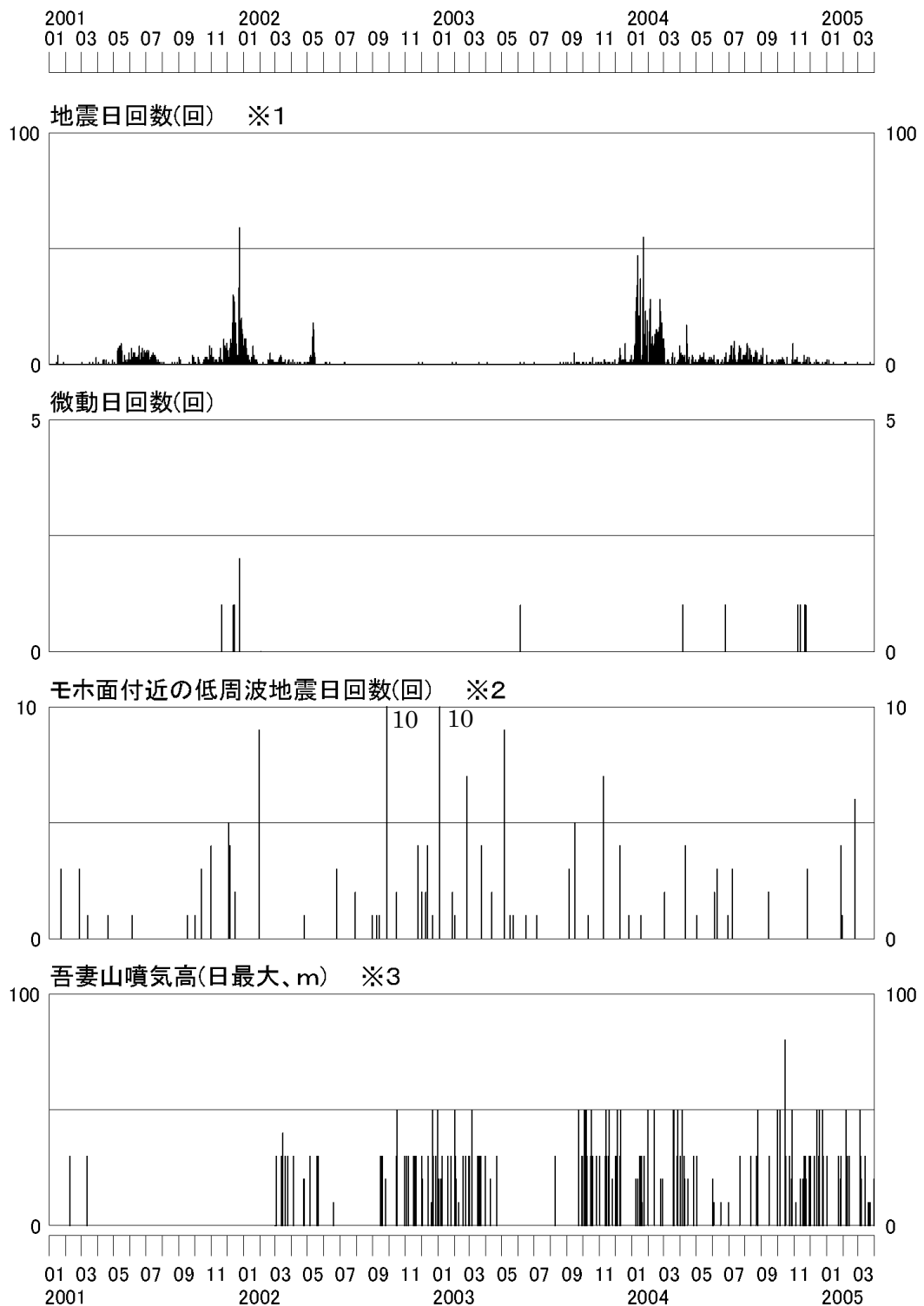
G P S連続観測では、火山活動によると考えられる変化はありませんでした。



G P S 基線長変化図（2002.1～2005.3）

吾妻山 活動一覧

2001/01/01～2005/03/31



- ※1 地震回数カウント基準を過去にさかのぼり変更しました。
このため、2004年9月以前の資料の日回数グラフと違ってしています。
- ※2 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- ※3 2002年2月以前は定時及び随時観測データ。
2002年3月以後は収録データにより全時間を精査。

2005年3月10日東北地方整備局ヘリによる機上観測結果（吾妻山）

①吾妻小富士、一切経山（南東側から撮影）

八幡焼硫気変質地帯で地熱による地肌の露出、噴気活動がみられる。前回（2004年3月）と比較して、積雪量の多少による地肌の露出面積の違いはあるが、全体的に変化はなかった。



可視画像（2005年3月）



可視画像（2004年3月）

②大穴火口南西側火口壁（W-6a）

大穴火口南西側火口壁から高さ約5mの噴気を観測した（前回2004年3月の観測時も約5m）。前回と比較して、地肌の露出箇所に変化はなかった。赤外線カメラによる観測では、日射により斜面を中心に地表面温度が高く解析された領域があるが、観測点周辺部の領域に変化はなかった。また、積雪量が昨年より多いこともあり、地肌の見える範囲がやや狭かった。

